

月 旬	9			10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
生育 ステージ	水稻(移植)			播種期			田植え			分けつ期			最高分けつ期			幼穂形成期			出穂期			登熟期			成熟期														
管理 作業	●堆肥の施用	●深耕					●耕うん	●塩水選・種子消毒	●播種	●畦畔作り		●基肥施用	●代かき	●箱施薬剤散布	●田植え(基肥施用)	●除草剤散布		●中耕・草取り	●畦畔管理		●穂肥施用	●畦畔管理		●斑点米カメムシ類	●いもち病防除		●ヒエ抜き	●畦畔管理		●収穫・乾燥・調製			●稲わらの鋤き込み						
水 管理							【深水】					【浅水】						【中干し】	【間断かんがい】			【湛水管理】				【間断かんがい】				【落水】									
栽培 の ポ イ ン ト	<p>1. 土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 有機物の補給として、稲わらの鋤き込みを行う。 堆肥等の施用を積極的に行い、地力維持に努める。 <p>2. 作土層の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 深さ15cmを目標とした耕耘を行い、根域を拡大する。 <p>3. 基肥</p> <ul style="list-style-type: none"> マイルドユーキ030号を30kgを目安に施用する。 側条施肥田植機にも対応可能。 基肥一発肥料の場合は、マイルドコート200号を40~50kgまたはシリカユーキー発を40kg施用する。 ペースト肥料を使用する場合は、フレーバーペーストを40kg施用する <p>4. 穂肥</p> <ul style="list-style-type: none"> マイルドユーキ030号、又はNKマイルド028号を出穂前20日(幼穂長0.5~1cm)を目安に施用する。 施用量は、20kgを目安に施用する。 施用遅れは、粗タンパク質含有率を上げ、食味に影響をおよぼすので注意する。 (化学チッソ量4.5kg以下) <p>5. 育苗</p> <ul style="list-style-type: none"> 種子消毒は、温湯消毒又は、微生物農薬エコホープD Jの200倍24時間浸漬で行う。(陰干しは、しない!) 播種量は、催芽粃で120~150g/箱の薄播きとする。 ハウス内の温度管理とかん水量に注意し、健苗育成に努める。特に30℃以上の高温に注意する。 <p>6. 田植え</p> <ul style="list-style-type: none"> 育苗日数は20~25日とし、2~2.5葉期で移植する。(徒長苗に注意!) 1株当り3~5本、栽植密度は㎡当り18.5株とし密植に注意する。(坪60株植え) <p>7. 雑草防除</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋冬期の耕うんを行い、雑草の発生量の抑制に努める。 生育中の畦畔管理は、できるかぎり草刈り機で対応し、防除の困難な場合は、バスタ液剤(2回まで)ラウンドアップマックスロード(3回まで)で対応する。 除草剤散布は、一発処理剤(サラブレットKAI剤・プライオリティ剤)をフロアブル剤・粒剤・ジャンボ剤、豆つぶ剤から選択して田植後30日迄に散布する。 雑草の発生が多い場合は、手取り又は中耕を行う。 藻類の発生が多い場合は、モゲトン粒剤を散布する。 <p>8. 病虫害防除</p> <ul style="list-style-type: none"> 畦畔及び農道などの雑草は、病虫害の発生に影響するので、草刈りを行い水田周辺の環境保全に努める。 初期害虫防除については、抵抗性イネドロオイムシを考慮し、パダン粒剤4を箱当り50g散布する。 本田後期の病虫害防除は、空中散布・地上防除で対応する。 カメムシ類防除には、ジノテフラン剤(スタークル・アルバリン)又はMR.ジョーカー剤を粒剤・粉剤・豆つぶ剤から選択して散布する。 稲こうじ病については、Zボルドー粉剤DLを出穂10日前迄に散布する。(薬害注意!) <p>9. 水管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 田植え初期は深水、活着後は浅水で管理し分けつを促進する。 有効茎数確保後(1株当り18本前後)、中干しに入り無効茎数と下位節間の伸長を抑制する。 落水時期は、出穂後25日以降とする。 <p>10. 収穫・乾燥・調製</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫は、帯緑色もみ歩合15%を目安に適期に行う。 乾燥は、水分14.5~15%とし、過乾燥に注意する。 調製は、グレーダーの網目は1.8mmで選別する。 																																						

※使用量は、10a当たり。
 ※●マイルドユーキ030号(10-13-10) 有機態チッソ5.3%、無機態チッソ4.7% ●NKマイルド028号(10-2-8)有機態チッソ5.3%、無機態チッソ4.7%
 ●マイルドコート200号(12-10-10) 有機態チッソ6.1%、無機態チッソ5.9% ●フレーバーペースト(7-3-4) 有機態チッソ3.5%、無機態チッソ3.5%
 ●シリカユーキー発(15-8-8)けい酸10% 有機態チッソ3.8%、無機態チッソ11.2%